エコアクション２１

環境活動レポート

平成２４年４月 ～ 平成２５年３月

この地球で一緒に暮らす

～環境を守る心をはぐくむ教員を育てる～

平成２５年 ９月３０日

国立大学法人
鳴門教育大学

エコアクション21
認証・登録番号 0008147

目次

１．学長あいさつ　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１

２．鳴門教育大学環境方針　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　２

３．環境マネジメントシステムの状況　・・・・・・・・・・・・・・・・・・　３

４．対象範囲，活動，規模，組織体制　・・・・・・・・・・・・・・・・・・　６

５．環境目標，環境活動計画，平成２４年度実績及び評価　・・・・・・・・　８

６．環境保全活動　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　15

７．環境マインドを持った人材の育成　・・・・・・・・・・・・・・・・・・　17

８．環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反，訴訟等の有無　・・　29

９．代表者による全体評価と見直しの結果　・・・・・・・・・・・・・・・・　30

国立大学法人 鳴門教育大学

学 長　田 中　雄 三

学長あいさつ

昭和５４年６月に制定された『エネルギーの使用の合理化に関する法律』（『省エネ法』）で，エネルギーを使用して事業を行う者は，エネルギーの使用の合理化に努めることとされ，学校も例外ではありません。また，学校等の公的教育研究機関は法の遵守のみならず，地域社会の模範として『省エネ法』の趣旨を踏まえた，積極的な省エネルギー対策の推進が求められています。

このような状況を踏まえ，鳴門教育大学は，全構成員が環境意識を高めるため，『エコアクション２１』に取り組むこととし，平成２２年１１月に『鳴門教育大学環境方針』を策定しました。この方針は，環境負荷の継続的な削減に取り組んでいくため，本学の環境への取組の基本方針を示すものであります。

また，同年度に『エコアクション２１運営委員会』で，平成 23 年度の『環境目標』『環境活動計画』等を定め，電力・燃料・水・紙の使用量を毎年１％削減することを目標としました。さらに，これらのことを教職員，学生等に広く周知し，平成 24 年度からは附属学校園にもその対象を広げ，目標の達成のための取組及び確認評価を行い，全体の評価と見直しを行う PDCA サイクルにより継続的に改善し，環境マインドを持った人材育成を図ることとしています。

我国は，東京電力福島第一原子力発電所の事故（2011 年３月 11 日）以後，特に，人類全体が直面している新たなエネルギーシステムの開発を含む「エネルギー問題」と，地球規模で加速しているエネルギー消費量の増加を抑制し，同時にまた持続可能な地球環境を維持する「地球環境問題」の解決に向けて，先導的役割を担っていかねばならないと思います。

鳴門教育大学は，これら社会の要請を見据えた教育環境の構築にチャレンジしていくとともに，構成員一人一人の行いが地球規模の環境に影響を及ぼす責任を自覚し，引き続き環境保全への取組を推進していきたいと思います。

平成２５年９月３０日

鳴門教育大学環境方針

鳴門教育大学環境方針

基本理念

鳴門教育大学は、景勝の地、鳴門海峡の潮と光と人が調和する風の通り道にある。この自然を護り、教育の一番札所として優れた教育者を養成し、教育、研究および社会貢献活動を通して、学習環境や自然環境の保全、資源の消費量削減、再使用、再資源化の啓発、推進を目指し、未来へ向けて持続可能な社会を実現します。

基本方針

本学の基本理念に基づき、環境方針達成のため、環境目標及び環境活動計画を策定し、本学の教職員及び学生ならびに本学に関わる全ての人々が一体となり、以下の活動を自主的・積極的に推進します。

1．環境活動を通じて、環境マインドを持った人材を育成します。
2．環境マネジメントシステムを構築し、継続的な運用・維持・改善を図ります。
3．本学のあらゆる活動に伴い発生する環境負荷の低減を目指し、次の項目を、重点的に取組みます。
   1）二酸化炭素排出量の削減
   2）水の使用量の削減
   3）紙の使用量の削減
   4）一般廃棄物の発生抑制
   5）化学物質の適正管理
   6）グリーン購入の推進
4．本学に適用される環境関連法規及びその他の事項を遵守します。
5．環境方針は、本学の教職員及び学生ならびに本学に関わる全ての人々に対し、周知するとともに、環境活動レポート等で、社会にも公表し、環境コミュニケーションを図ります。

２０１０年１１月２４日

国立大学法人鳴門教育大学長　田中雄三

環境マネジメントシステムの状況

（平成 22 年度）

平成 22 年 5 月　（財）地球環境戦略研究機関持続性センター エコアクション２１中央事務局長より，本学執行部及び事務の管理職を対象とした説明会を実施（14 名）

平成 22 年 10 月　エコアクション２１運営委員会発足

平成 22 年 11 月　**エコアクション２１認証取得に向けキックオフ宣言**

鳴門教育大学環境方針発表　（105 名）

平成 22 年 12 月　平成 22 年度第１回エコアクション２１運営委員会開催（6 名）

平成 23 年　1 月　平成 22 年度第２回エコアクション２１運営委員会開催（5 名）

環境目標及び環境活動計画，環境マネジメントマニュアル策定

平成 23 年　3 月　平成 22 年度第３回エコアクション２１運営委員会開催（6 名）

（平成 23 年度）

平成 23 年　4 月　**エコアクション２１試行期間開始**

環境活動計画への取組状況の評価者決定 （28 名）

平成 23 年　4 月　平成 23 年度新任職員研修にて，エコアクション２１の説明を実施（35 名）

平成 23 年　4 月　平成 23 年度入学式オリエンテーションにて，エコアクション２１の説明を実施（401 名）

平成 23 年　4 月　平成 23 年度第１回全学教職員説明会にて，エコアクション２１の推進を行った（101 名）

平成 23 年　6 月　平成 23 年度第１回エコアクション２１運営委員会開催（6 名）

平成 23 年　7 月　平成 23 年度第２回全学教職員説明会にて，エコアクション 21 の推進を行った（119 名）

平成 23 年　8 月　環境保全活動を行っている企業を訪問し，意見交換を行った（6 名）

平成 23 年　9 月　平成 23 年度第２回エコアクション２１運営委員会開催（6 名）

平成 24 年　1 月　エコアクション２１認証・登録に際し，現地審査を行った（30 名）

平成 24 年　3 月　**鳴門サイトがエコアクション２１の認証・登録を取得した**

平成 24 年　3 月　平成 23 年度第４回全学教職員説明会にて，エコアクション 21 のパンフレットを配布した（112 名）

（平成 24 年度）

平成２4年　4 月　平成２4年度新任職員研修にて，エコアクション２１の説明を実施（33 名）

平成２4年　4 月　平成２4年度入学式オリエンテーションにて，エコアクション２１の説明を実施（384 名）

平成２4年　5月　平成 24 年度第１回施設整備委員会エコアクション２１専門部会（高島団地）開催（7名）

平成２4年　6月　平成 24 年度第１回施設整備委員会エコアクション２１専門部会（附属学校園）開催（6 名）

平成２４年　７月　エコアクション２１講演会開催（80 名）
平成２４年　７月　構内一斉清掃実施（62 名）
平成２４年　８月　平成 24 年度第２回施設整備委員会エコアクション２１専門部会（高島団地）開催（７名）
平成２４年　８月　徳島サイト（附属学校園）内部監査実施（8/22，9/6）
平成２４年　９月　鳴門サイト（高島団地）内部監査実施（9/10）
平成２４年１０月　平成 24 年度第３回施設整備委員会エコアクション２１専門部会（高島団地）開催（７名）
平成２４年１１月　平成 24 年度第４回施設整備委員会エコアクション２１専門部会（高島団地）開催（持ち回り）
平成２４年１１月　平成 24 年度第２回施設整備委員会エコアクション２１専門部会（附属学校園）開催（６名）
平成２４年１１月　構内一斉清掃実施（87 名）
平成２４年１１月　内部監査員養成研修実施（１７名）
平成２５年　１月　エコアクション２１現地審査（鳴門サイト中間審査，徳島サイト拡大審査）を行った（1/30～2/1）（36 名）
平成２５年　２月　**徳島サイトがエコアクション２１の認証・登録を取得した（範囲拡大）**
平成２５年　３月　平成 24 年度第５回施設整備委員会エコアクション２１専門部会（高島団地）開催（６名）
平成２５年　３月　平成 24 年度第３回施設整備委員会エコアクション２１専門部会（附属学校園）開催（７名）

IPSuS
エコアクション21
認証・登録証
認証・登録番号　0008147
認証・登録事業者　国立大学法人鳴門教育大学
徳島県鳴門市鳴門町高島字中島 748 番地
事業活動　教育・研究活動
対象事業所　鳴門サイト（鳴門教育大学）、徳島サイト（鳴門教育大学附属幼稚園、鳴門教育大学附属小学校、鳴門教育大学附属中学校、鳴門教育大学附属特別支援学校）
認証・登録日　2012 年 3 月 27 日
有効期限　2014 年 3 月 26 日
上記事業者は「エコアクション21ガイドライン2009年版」（環境省）の要求事項に適合していることを証します。
一般財団法人 持続性推進機構
理事長　郡嶌孝

エコアクション２１認証登録証とは？

エコアクション２１において，事業者はエコアクション２１地域事務局の審査を受け，その結果，認証・登録を取得すると左のような認証・登録証が送られてきます。
本学では**平成 24 年 3 月**に鳴門サイトが，**平成 25 年２月**に徳島サイトが認証・登録を取得しました。

大学創設の趣旨・目的

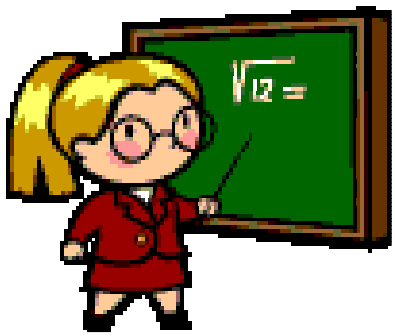
教員には，教育者としての使命感と人間愛に支えられた豊かな教養，教育の理念と方法及び人間性に対する多面的な深い理解並びに教科・領域に関する専門的学力，優れた教育技術など，専門職としての高度の資質能力が強く求められている。

本学は，このような社会的要請に基づき，主として現職教員に高度の研究・研鑽の機会を確保する大学院と，初等教育教員及び中学校教員の養成を行う学部をもち，学校教育に関する理論的，実践的な教育研究を進める「教員のための大学」及び学校教育の推進に寄与する「開かれた大学」として昭和 56 年 10 月１日に創設された新しい構想の国立大学であり，以後社会の要請に応えるべく教育研究の充実に取り組んできた。

平成 20 年度から，今日の学校と教員を巡る状況を踏まえ，養成すべき教員像を明確にし，専門性と実践力を備えた力量のある教員を養成することとし，新たに専門職学位課程（高度学校教育実践専攻）を教職大学院として設置した。

大学院学校教育研究科「修士課程」において，教科・領域等における専門性を培い，優れた教育実践を展開できる能力を，「専門職学位課程」では，幅広い視点からの問題分析力・対応力・解決力を培い，学校や地域で指導力を発揮できる力量を，それぞれ有する初等中等教育教員を養成することを目的としている。

また，「学校教育学部」においては，幼児・児童・生徒の成長と発達に関する総合的な理解にたち全教科・領域にわたる優れた指導能力を備えた初等教育教員及び中学校教員を養成することを目的としている。　　（本学 HP より）



対象範囲，活動，規模，組織体制

（1）大学名及び代表者

大学名：国立大学法人鳴門教育大学

代表者：学長　　田中　雄三

（2）所在地ならびに認証・登録範囲

【鳴門サイト】

国立大学法人鳴門教育大学　　〒772-8502　鳴門市鳴門町高島字中島 748 番地

【徳島サイト】

鳴門教育大学附属幼稚園　　〒770-0808　徳島市南前川町２丁目 11 番地の１

鳴門教育大学附属小学校　　〒770-0808　徳島市南前川町１丁目１番地

鳴門教育大学附属中学校　　〒770-0804　徳島市中吉野町１丁目 31 番地

鳴門教育大学附属特別支援学校　〒770-0803　徳島市上吉野町２丁目１番地

（3）活動（製品・サービス）

教育・研究活動及び事務所のオフィス活動

（4）対象者

全構成員（※但し，学生参加は最終平成 27 年度目標とする）

（5）環境管理責任者及び環境管理担当者

環境管理責任者：　理事･副学長　　茶畠　豊

（施設整備委員会エコアクション 21 専門部会（高島団地）委員長）

環境管理担当者：　経営企画本部施設課長　　高木　実

（6）事業内容

教員養成系大学

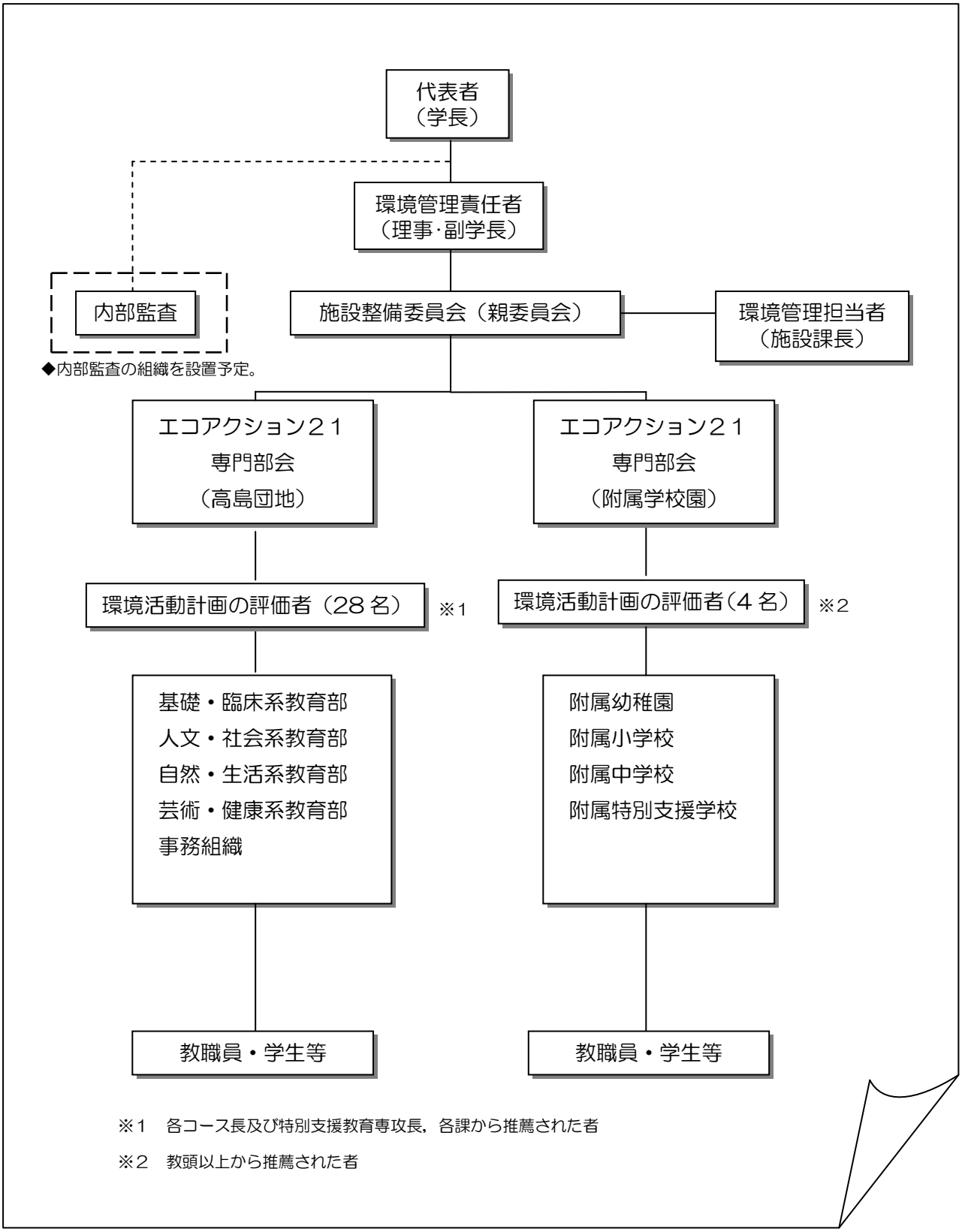
（7）事業規模

（各年度５月１日付）

区分		平成２１年度	平成２２年度	平成２３年度	平成２４年度
教員		158	156	152	147
附属学校教職員		－	－	－	101
事務職員･その他		97	100	99	96
学部生		469	468	461	462
大学院生		532	545	603	657
幼児・児童・生徒		－	－	－	1,359
敷地面積	鳴門サイト	238,207	238,207	238,207	238,207
	徳島サイト	－	－	－	49,338
建物延面積	鳴門サイト	43,195	43,195	43,253	43,235
	徳島サイト	－	－	－	18,106
主な負荷設備		排水施設 電気設備	排水施設 電気設備	排水施設 電気設備	排水施設 電気設備

※徳島サイト（附属学校園）は平成 24 年度から取組を開始

（8）エコアクション21 組織図



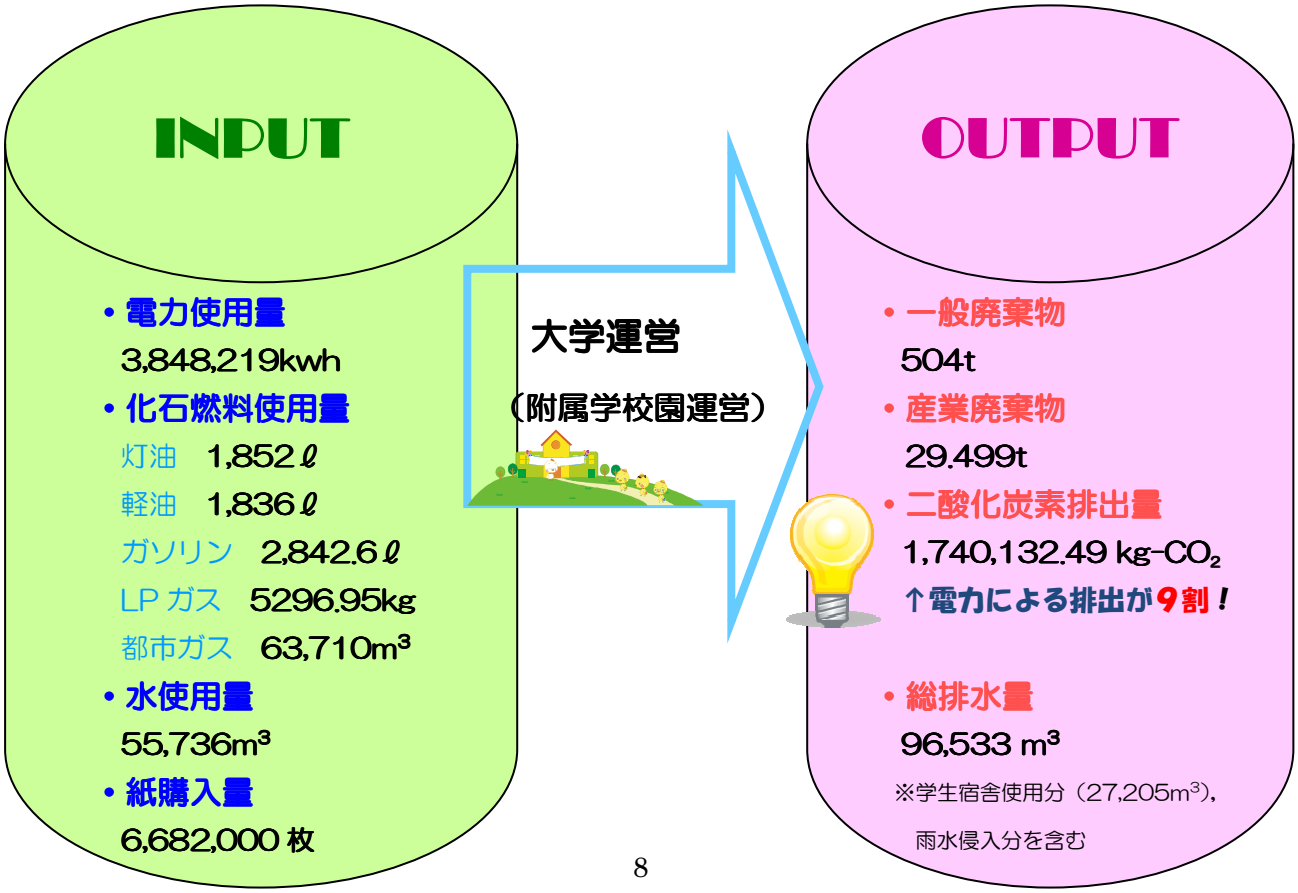
環境目標，環境活動計画，平成２４年度実績及び評価

◆環境目標・環境活動計画（H23～H25 の３ヶ年）

目的	環境目標	環境活動計画
二酸化炭素の排出量の削減	電力使用量平成 22 年度比毎年＋1%ずつ削減	昼休みおよび不要時は，業務上照明が必要な箇所等を除き，消灯する。
		エレベーターの使用を控え，直近階へ階段を利用するよう努める。
		冷暖房温度の適正管理（冷房 28 度以上，暖房 19 度以下）の徹底を図る
		冷房中は空調効果を上げるためにブラインド等をおろし，日射を遮る。
	燃料使用量平成 22 年度比毎年＋1%ずつ削減	公用車の運行は，急ブレーキ・急ハンドル等タイヤの摩耗しない運転を励行する。
水・紙の使用量の削減	水使用量平成 22 年度比毎年＋1%ずつ削減	手洗い時等において，日常的に節水を励行する。
	紙購入量平成 22 年度比毎年＋1%ずつ削減	コピー用紙の両面印刷，裏面の再利用の徹底を図る。
		通知，連絡等については，電子メールの活用を図り，資料等は可能な限り電子媒体で保存する。
一般廃棄物の発生抑制	廃棄物量平成 22 年度比の発生抑制	ゴミの分別回収を徹底する。
		使い捨て製品の使用や購入の抑制をし，詰め替え可能な文具等を使用する。

◆マテリアルバランス

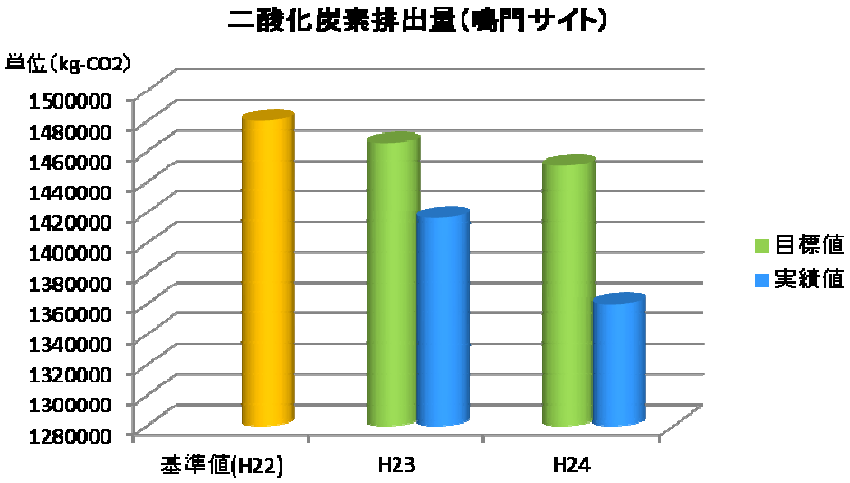
マテリアルバランスとは，大学における事業活動において，投入された物質の量（インプット）と活動により排出された物質の量（アウトプット）の収支をあらわしたものです。本学では，教育・研究活動及び事務所のオフィス活動における環境負荷の把握を行い，これらの削減に取り組んでおります。

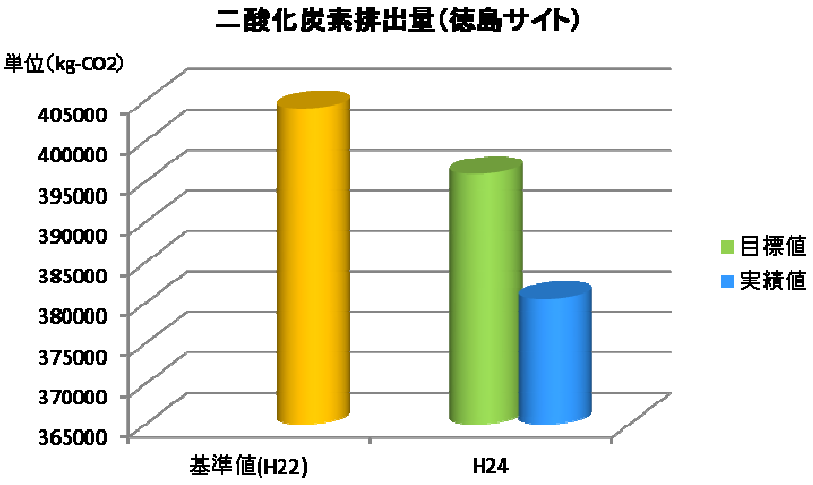


◆環境負荷削減の取組

- 基準値は平成 22 年度実績です。
- 徳島サイトは平成 24 年度より実施しています。

●二酸化炭素排出量の削減





目標値（２％削減）より
さらに６％を上回る
排出削減！

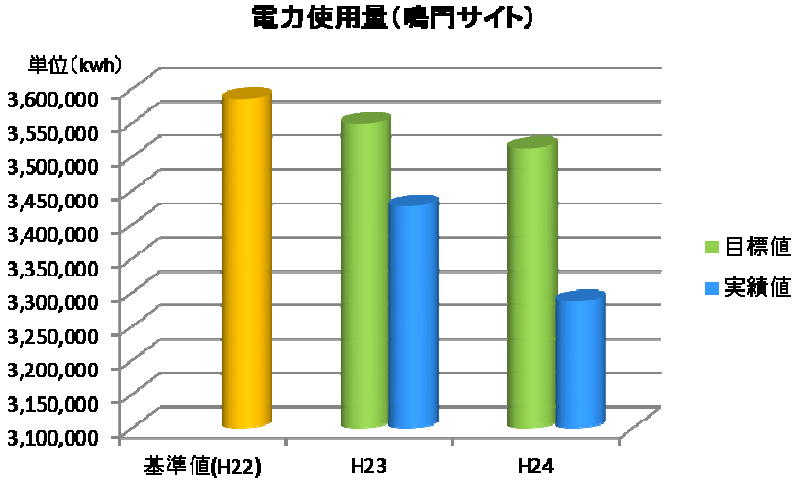
○鳴門サイト

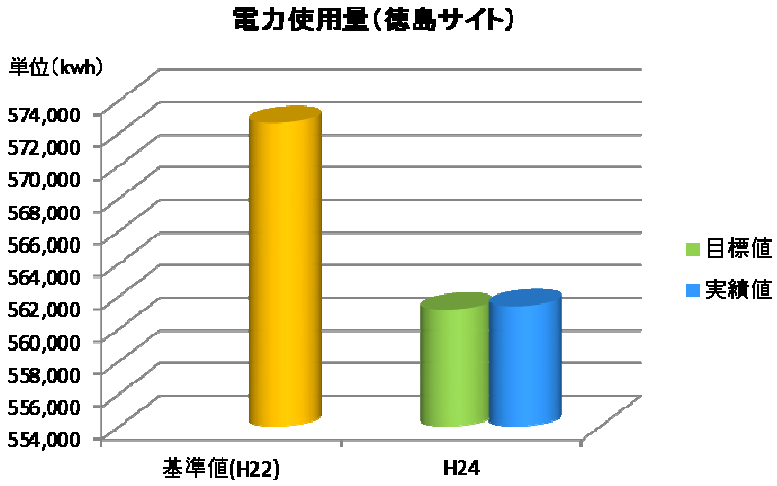
平成 24 年度の二酸化炭素排出量は，**1,359,713.23kg-CO_2**
前年度 1,416,265.71kg-CO_2 より，56,552.48kg-CO_2 減
目標値 1,450,517.37kg-CO_2 より，90,804.14kg-CO_2 減
（次年度目標値 1,435,716.18 kg-CO_2）

○徳島サイト

平成 24 年度の二酸化炭素排出量は，**380,419.26kg-CO_2**
前年度　391,507.28kg-CO_2 より，11,088.02kg-CO_2 減
目標値　395,883.85kg-CO_2 より，15,464.59kg-CO_2 減
（次年度目標値 391,844.22 kg-CO_2）

【●二酸化炭素排出量の多くを占める電力使用量の削減】





目標値（２％削減）より
さらに６％を上回る
排出削減！

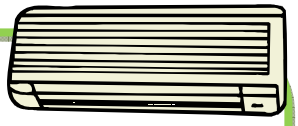
○鳴門サイト

平成 24 年度の電力使用量は，**3,286,858.00kwh**
前年度 3,426,637.00kwh より，139,779.00kwh 減
目標値 3,512,712.98kwh より，225,854.98kwh 減
（次年度目標値 3,476,868.97kwh）

○徳島サイト

平成 24 年度の電力使用量は，**561,361.00kwh**
前年度 565,235.00kwh より，3,874kwh 減
目標値 561,140.16kwh より，220.84kwh 増
＊増加理由…附属幼稚園の暖房熱源を重油から電力に切り替えたため。
（次年度目標値 555,414.24kwh）

OFF!



日々の取組

＊不要時間，不要場所での照明の消灯
＊直近階への階段の利用
＊温度の適正管理
（冷房２８度以上　暖房１９度以下）
＊ブラインド等による日射の遮断
＊パソコン等機器の電源 OFF

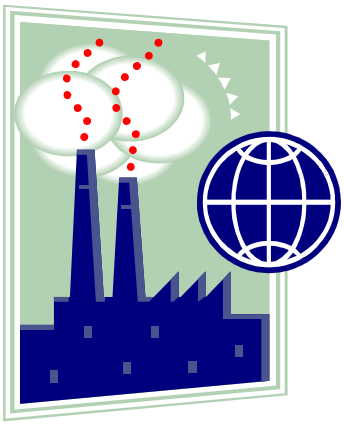
【●化石燃料使用量の削減】

○鳴門サイト

- 平成 24 年度の灯油使用量は **143.00ℓ**
  目標値 35.28 ℓ より 107.72ℓ 増
  （次年度目標値 34.92ℓ）
  増加理由…使用量の増加。
- 平成 24 年度の軽油使用量は **67.00ℓ**
  目標値 169.64ℓ より 102.64ℓ 減
  （次年度目標値 167.91ℓ）
- 平成 24 年度のガソリン使用量は **2,388.90ℓ**
  目標値 2,352.98ℓ より 35.92ℓ 増
  （次年度目標値 2,328.97ℓ）
  増加理由…使用量の増加。
- 平成 24 年度のＬＰガス使用量は **5,296.95kg**
  目標値 4,952.92kg より 344.03kg 増
  （次年度目標値 4,902.38kg）
  増加理由…使用量の増加。

化石燃料が二酸化炭素総排出量に占める割合は 1 割です。
しかし,貴重な資源。ムダをなくして大切に使いましょう。

日々の取組
＊車の運行時にタイヤの摩耗しない運転を心がける
＊温度の適正管理
（冷房２８度以上　暖房１９度以下）



○徳島サイト

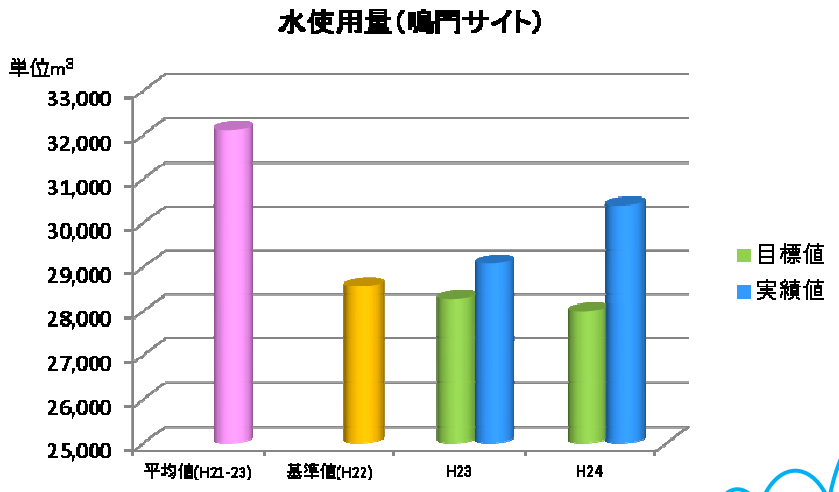
平成 24 年度の化石燃料使用量及び対目標値増減

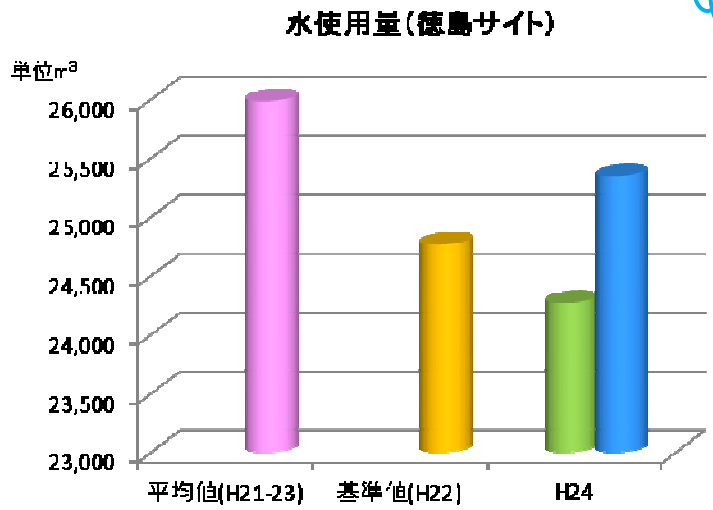
- 平成 24 年度の灯油使用量は，**1,709.00ℓ**
  目標値 1,163.26 ℓ より 545.74ℓ 増
  （次年度目標値 1,151.39ℓ）
  増加理由…全体暖房（都市ガス使用）から局所暖房（灯油使用）に切り替えたため。
- 平成 24 年度の軽油使用量は，**1,769.00ℓ**
  目標値 1,784.48ℓ より 15.48ℓ 減
  （次年度目標値 1,766.27ℓ）
- 平成 24 年度のガソリン使用量は，**453.70ℓ**
  目標値 274.79 ℓ より 178.91ℓ 増
  （次年度目標値 271.99ℓ）
  増加理由…使用量の増加
- 平成 24 年度の都市ガス使用量は，**63,710.00m³**
  目標値 68,485.34 m³より 4,775.34m³減
  （次年度目標値 67,786.51 m³）
- 平成 24 年度の重油使用量は，**0ℓ**
  ※重油使用のボイラーを撤去したため０ℓ となった。

平成２５年度は，環境目標年３％削減に向け，引き続き取組を推進します。

●水使用量の削減

水資源は上水のみです。利用者数等により，年度毎においての変動があります。





例年に比べ平成22年度の使用量が少なかったこと，その他漏水等により達成できませんでした。

ただし，H21～23 の平均値（ピンクのグラフ）よりも下回っています。

○鳴門サイト

平成 24 年度の水使用量は，**30,393 m³**

目標値 27,990 m³より，2,403 m³増

増加理由…例年に比べ平成２２年度の使用量が少なかったこと，その他漏水等。

（次年度目標値 27,704 m³）

日々の取組

＊手洗い時の日常的な節水

○徳島サイト

平成 24 年度の水使用量は，**25,343 m³**

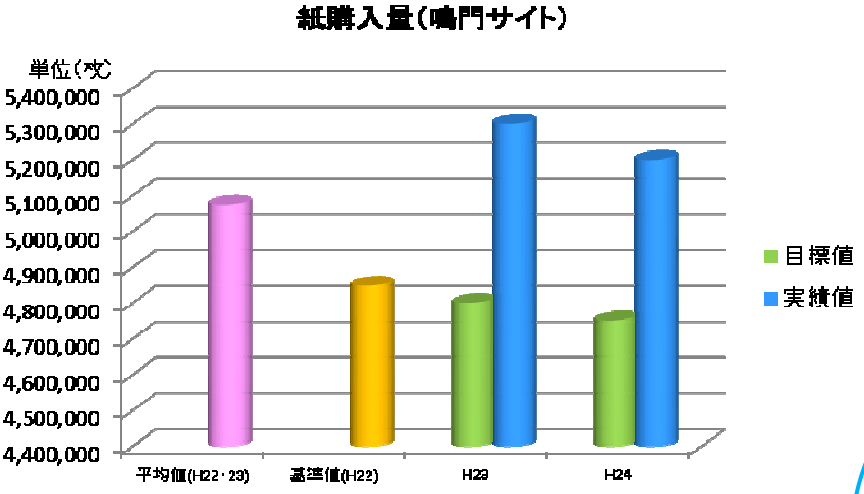
目標値 24,271 m³より，1,072 m³増

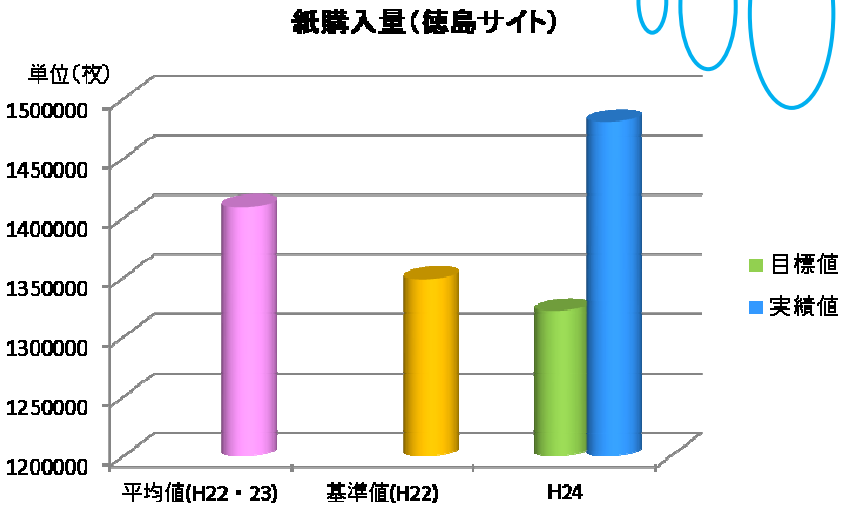
増加理由…例年に比べ平成２２年度の使用量が少なかったこと，その他漏水等。

（次年度目標値 24,023 m³）

平成２５年度は，環境目標年３％削減に向け，引き続き取組を推進します。

●紙購入量の削減





業者印刷を控え学内印刷に切り替えたため使用量が増加しました。加えて附属学校園では全国的な学会の当番校になったことも増加の原因と考えられます。

H22・23 の平均値（ピンクのグラフ）よりもやや上回っています。

※紙購入量は H22 より記録を始めたため H22・H23 の平均値を掲載

○鳴門サイト

平成２４年度のコピー用紙購入量は，**5,201,500 枚**

目標値 4,752,020 枚より，449,480 枚増

増加理由…業者印刷を控え学内印刷に切り替えたため。

（次年度目標値 4,703,530 枚）

○徳島サイト

平成２４年度のコピー用紙購入量は，**1,480,500 枚**

目標値 1,321,530 枚より，158,970 枚増

増加理由…業者印刷を控え学内印刷に切り替えたため。

…全国的な学会の当番校になったため。

（次年度目標値 1,308,045 枚）

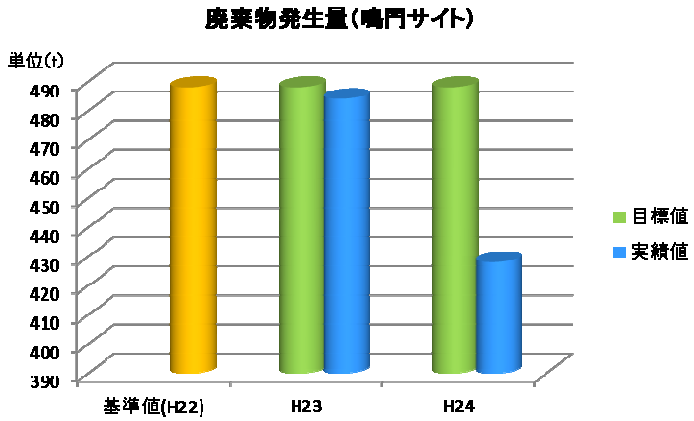
日々の取組

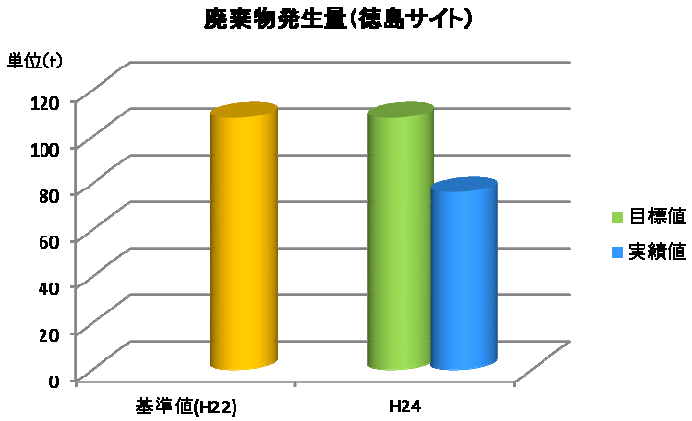
＊コピー用紙の両面印刷，裏面の再利用

＊電子メールの活用，資料の電子媒体での保存

平成２５年度は，環境目標年３％削減に向け，引き続き取組を推進します。

●一般廃棄物量の削減





○鳴門サイト

平成 24 年度の一般廃棄物量は，**428t**

目標値 488t より，60t 減

（次年度目標値 488t）

○徳島サイト

平成 24 年度の一般廃棄物量は，**76t**

目標値 108t より，32t 減

（次年度目標値 108t）

日々の取組

＊ゴミの分別回収の徹底

＊詰め替え可能な文具等の使用

＊シュレッダーごみのリサイクルの推進

●グリーン購入・調達の状況

毎年度，グリーン購入法の規定に基づき，「国立大学法人鳴門教育大学における環境物品等の調達の推進を図るための方針」を定め，これに基づいて環境物品等の調達を推進しています。

◇鳴門教育大学のグリーン購入の方針について

http://www.naruto-u.ac.jp/information/08/014001.html

グリーン購入調達実績（平成２４年度）

○鳴門サイト…紙類・文具類９９％　その他１００％

○徳島サイト…全分野１００％

十分達成（ほぼ 100%）！！

環境保全活動

（1）省エネルギー対策等について

【エコアクション２１啓発活動】

各棟掲示板および各部屋に，「鳴門教育大学環境方針」，「平成２４年度の環境目標および環境活動計画」を掲示しました。

電気・水使用量も
毎月掲示しています

その他，１）電源スイッチに節電シール，
２）手洗い場に節水シール，
３）エレベーターインジケーター横に，階段利用促進シールの貼付をしています。

①（節電シール）

②（節水シール）

③（階段利用促進）

【省エネルギー対策】

地球温暖化防止及び省エネルギーに資するため，夏季の軽装の励行，冷房期間・温度及び暖房期間・温度について，全教職員に通知及び掲示を行っています。

１）夏季の軽装
対象期間：５月 10 日～10 月 31 日
公式行事への出席等やむを得ない場合を除き，原則として軽装（ノーネクタイ・ノー上着）で執務するようにしております。

２）冷房期間・温度
冷房期間：６月 18 日～９月 21 日
冷房温度：28℃
３）暖房期間・温度
暖房期間：12 月３日～３月 15 日
暖房温度：19℃

＊　講義室，会議室等に掲示しております。

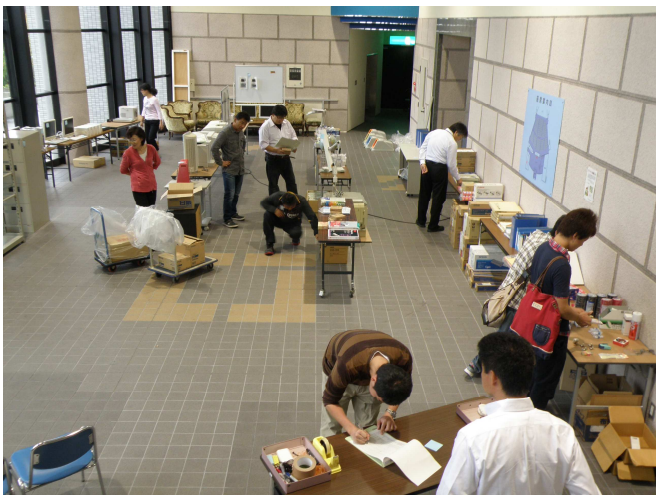
3）夏季一斉休業

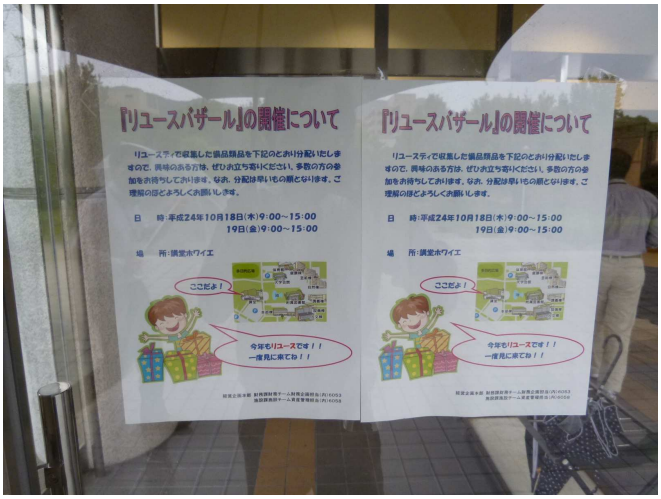
また，本学に勤務する職員の心身の健康の維持・増進，家庭生活の充実を図り，地球温暖化防止及び省エネルギーに資することを目的として，夏季一斉休業を実施しています。

- 対象期間　　：8月13日，14日，15日（お盆の時期の学長が指定する3日間）
- 節約電力量　　：13，047kwh
- 電力料金節減金額：182，658円

【リユースデイとバザールの実施】

「リユースデイ」を実施して学内で使用されなくなった備品類を集めました。そして講堂ホワイエで10月18日（木）～19日（金）に「リユースバザール」を開催して，それら備品類を再分配しました。





【大学の美化活動】

大学の構成員のメンバーで，大学周辺及び構内に捨てられているゴミの回収を不定期に行っています。また，ゴミ箱には分別できるようシールを貼っています。

クラブの合間に参加してくれました

（ゴミ分別シール）

環境マインドを持った人材の育成

本学の環境方針の「環境マインドを持った人材」とは，エコアクション２１の活動を通じ，構成員が自ら主体的に学び，行動する人材のことです。このような人材育成に向けて，本学では下記のような取組を教育科目や活動を通じて行っています。

【研修・オリエンテーション・講演会・内部監査員養成研修・内部監査】

●平成２４年度新任職員研修（平成２４年４月３日）

本学の新任教職員 ３３名に対し，本学では昨年４月から「エコアクション２１」の取組を始め，本年度は附属学校園の認証・登録を目指していることが紹介されました。また，「鳴門教育大学環境方針」，「平成 ２４年度環境目標および環境活動計画」について説明を行い，本学の構成員の一員として，積極的な協力を呼びかけました。

●平成２４年度入学式オリエンテーション（平成２４年４月５日）

入学許可された 384 名の新入生に対し，省エネ，省資源，廃棄物削減等に全構成員が取り組む「環境マネジメントシステム」の一つとして，「エコアクション２１」について概要説明を行いました。

また，鳴門教育大学の構成員の一員として，１０項目の「環境活動計画」に積極的に取り組み，環境に関するボランティア活動への積極的な参加を呼びかけました。

●エコアクション２１講演会開催（平成２４年７月２６日）

本学の教職員および学生を対象に，エコアクション２１講演会を開催しました。

四国ガス㈱林章二氏より「エネルギーからエコを学ぶ～環境配慮型社会を目指して～」と題して講演していただき，「エネルギーの基礎，節電，省エネ，環境負荷の低減など，それぞれの目的を正しく理解し，エネルギー特性に応じた節約行動を起こすことが重要である」といった話に，参加者８０名は熱心に耳を傾けていました。

～講演後アンケートより～

- 世間で言われている節電などのエコも，実際には間違った情報も多くあるということがわかりました。正しい知識をつけられるように，自分でもう少し勉強したいです。
- 今日の話を参考に自分の頭で考えて省エネ，節電などに取り組みたい。…etc

●平成２４年度エコアクション２１内部監査員養成研修実施
（平成２４年１１月２６日～１１月２７日）

本学の職員を対象として平成２４年度エコアクション２１内部監査員養成研修を実施しました。講師に阿部敏男氏（エコアクション２１コンサルタント）を招き，１日目は地球環境のおさらい，本学の環境マネジメントマニュアルの解釈及び監査のポイントについて講義していただきました。２日目は前日の講義を踏まえて，講師の助言・解説を受けながら，グループ演習及び監査側・被監査側にわかれての模擬監査を実施しました。

講師からは，「予想以上に白熱した模擬監査となり，非常に有意義な研修になった。」との講評があり，本学理事より「環境への取組は，担当部署だけでなく大学全体として行う必要があり，今回研修を受けられた皆様は，他の職員を先導して取り組んでほしい。」との挨拶がありました。

来年度は本研修の受講者の中から環境管理責任者の推薦により監査員を選定し，内部監査を実施する予定です。

●エコアクション２１内部監査実施
（鳴門サイト　平成２４年９月１０日）
（徳島サイト　平成２４年８月２２日，９月６日）

本学の環境経営システムが，ガイドラインで規定する要求事項に適合しているか，また組織が定められたルールに適合しているか，環境目標が達成されているか，環境活動計画が適切に実施され環境への取組及びシステムが継続的に改善されているか等を評価することを目的として，第三者による内部監査を実施しました。

監査結果

〇良かった点

・学長からトップダウンで環境マインドの人材育成及び省エネについて環境活動レポートの挨拶で周知が確認できた。

・附属学校園は，各学校園とも環境活動に関わることが自薦されていて良かった。
　また独自の環境活動を実践していた。

・大学では各教育部において環境に関する教育・研究が確認できた。潮流発電など興味深い研究も多く今後に期待したい。

〇改善すべき点

・鳴門教育大学環境方針・学長による全体の評価と見直しの結果等エコアクション２１について，全学構成員の周知が十分にできていない。特に附属学校関係の教員への周知が必要である。

・環境マインドを持った人材の育成について，個々については実施されているが，体系的に進捗管理ができるようにした方がよい。

●学部・大学院における環境科目関連の開設状況

区分	科目名	担当教員名（※敬称略）	
自然環境に関わる科目	開発と環境	○青葉　暢子（社会系・A210），近森　憲助，　田村　和之	学部
	人口と食糧問題	○前田　英雄（生健系（家庭）・C310），西川　和孝，宮口　智成	学部
	科学技術と社会	○伊藤　陽介（生健系（技・工・情）・C311），宮下　晃一， 粟田　高明，村田　守，工藤　慎一，胸組　虎胤	学部
	生活 A	檜　幸正（嘱託講師）	学部
	生活 B	檜　幸正（嘱託講師）	学部
	衣生活学	福井　典代（生健系（家庭）・C303）	学部
	運動方法実習ＸⅡ	○南　隆尚（生健系（保体）・E306），松井　敦典	学部
	栽培（実習を含む。）	川口　公男（嘱託講師）	学部
	衣生活学研究	福井　典代（生活・健康系（家庭）・C303）	大学院
	理科教育学研究	○佐藤　勝幸（自然系（理科）・C506），早藤　幸隆（C404），香西　武（C606），寺島　幸生（C609）	大学院
	エネルギー・物質と環境特論	粟田　高明（自然系（理科）・C607）	大学院
	衛生学・公衆衛生学Ⅰ	廣瀬　政雄（生健系（保体）・本 103）	学部
社会環境に関わる科目	衛生学・公衆衛生学Ⅱ	廣瀬　政雄(生健系（保体）・本 103)	学部
	住生活学	金　貞均（生健系（家庭）・C305）	学部
	地誌学概論	立岡　裕士（社会系・A205）	学部
	国際理解教育演習	○近森　憲助（国際教育・C505），小澤　大成（C405）	大学院
	環境教育総論	○田村　和之（現代教育課題総合・C604），近森　憲助（C505）	大学院
環境マネジメントに関わる科目	環境教育特論Ⅰ （教材開発）	○田村　和之（現代教育課題総合・C604），近森　憲助（C505）	大学院
	環境教育特論Ⅱ （授業開発）	○田村　和之（現代教育課題総合・C604），近森　憲助（C505）	大学院
	環境教育特論Ⅲ（実践）	○田村　和之（現代教育課題総合・C604），近森　憲助（C505）	大学院

●環境関連の研究状況

■鳴門教育大学大学院 生活･健康系コース(技術･工業･情報)情報基盤センター曽根直人准教授は

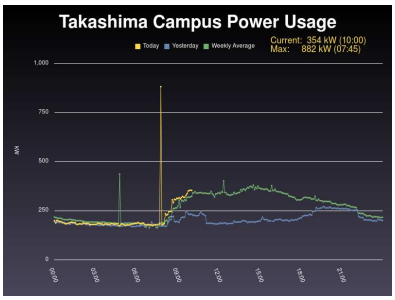
2012 年 4 月 19 日「ネットワークカメラを用いた学内消費電力可視化の試み」の研究論文を公開しました。そしてどのぐらい電力を使用しているかをすぐに把握できるように，その電力使用量を Twitter で配信しています。

なお正確には電力量を計測しているデマンド計の値をネットワークカメラのイメージデータを解析することで数字認識し、その数値を Twitter で配信しています。詳しい仕組については

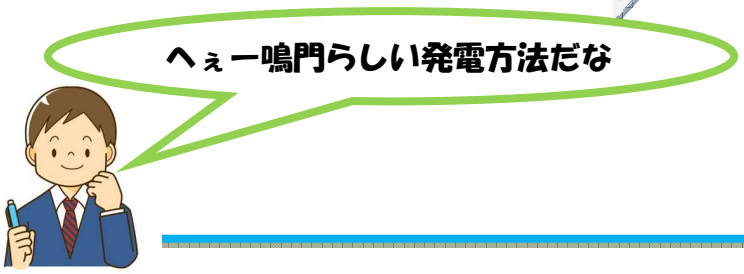
研究論文 http://www.naruto-u.ac.jp/repository/file/408/20120417144521/j09002.pdf をご覧ください。

ネットワークカメラの画像

グ ラ フ



ツイッター



■鳴門教育大学大学院　生活･健康系コース(技術･工業･情報)　宮下晃一教授は

2012 年 12 月 7 日　第７回再生可能エネルギー世界展示会において，

「海峡における潮流発電の検討」を発表しました。

なお，「堀越海峡における潮力を利用した発電の可能性調査」の概要に関しては

下記の URL をご覧ください。

http://www.naruto-u.ac.jp/_files/00039741/23-08-pro.pdf

堀越海峡の瀬戸内海側とウチノ海側では

最大５０ｃｍ以上の水位差で最大１０ノット以上の潮流があり，

その潮流を利用した潮力発電の実用化は現実的な面があることがわかりました。

堀越海峡の瀬戸内海側

潮流を利用した

潮力発電

ウチノ海側

●環境関連の地域・社会貢献の取組状況

自然，環境などに親しんでもらいながら，大学の研究成果を地域の人たちにも知ってもらえる公開講座も開催しています。

■吉野川の石ころ観察教室

岩石が大きな力で曲げられた「しゅう曲」や，水の力で掘られた「ポットホール」を見学し，徳島県の大地のなりたちを観察するとともに，徳島一億年の歴史を子どもたちに学んでもらうことを目的に実施しました。

【実施場所】土釜，吉野川（美馬郡つるぎ町）
【対 象 者】小・中学生（小学生は保護者同伴）
【参加人数】２７人（鳴門市民２１人）
【実 施 日】平成２４年１１月２３日（金・祝日）
村田 守 教授（自然系コース（理科））

ふぅーん、こんな楽しそうな公開講座もあるんだ

■遍路道の遺産をたどる

徒歩による遍路では，札所ばかりでなく，札所間を結ぶ遍路道も含めた全体が遍路の空間として意味を持ちます。沿道の景色に加え，道標･丁石･遍路墓などがその構成要素です。一番から五番までを事例として，遍路道沿いに残されたそうした遺産を一つ一つ歩いて確かめながら，先人から伝えられてきた遍路空間について改めて考えました。

平成 24 年 10 月 21 日(日)
大石 雅章 教授(社会系ｺｰｽ)
立岡 裕士 教授(社会系ｺｰｽ)
町田 哲 准教授(社会系ｺｰｽ)
南 隆尚 准教授(生活･健康系ｺｰｽ(保健体育))

●大学内の緑豊かな自然をホームページでも紹介

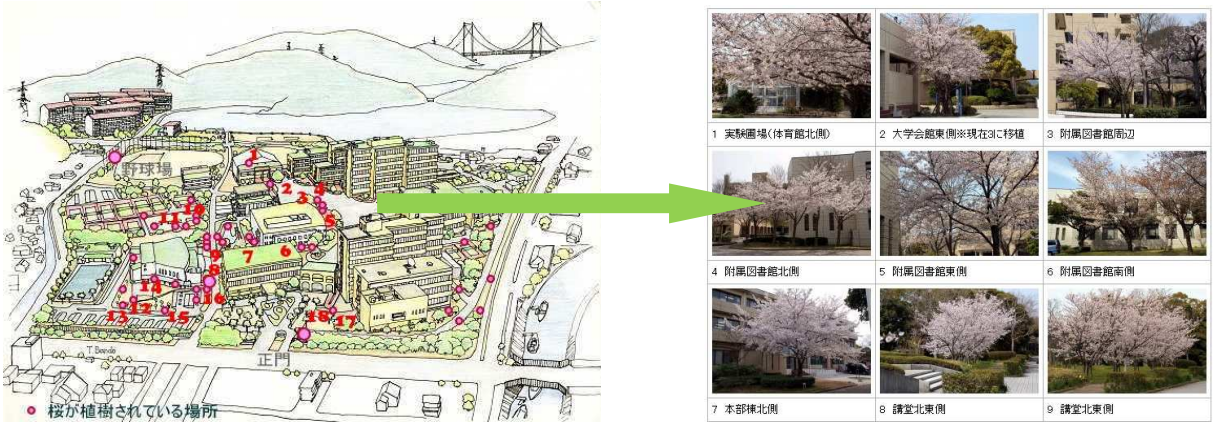
大学のキャンパスは緑豊かでホームページでもキャンパス内の主な木や花の説明があります。またその写真などを地図上にも貼り付けてありますので，地図を見ることで，その木や花などを写真で眺めることができます。

「キャンパスの樹木たち」のホームページ

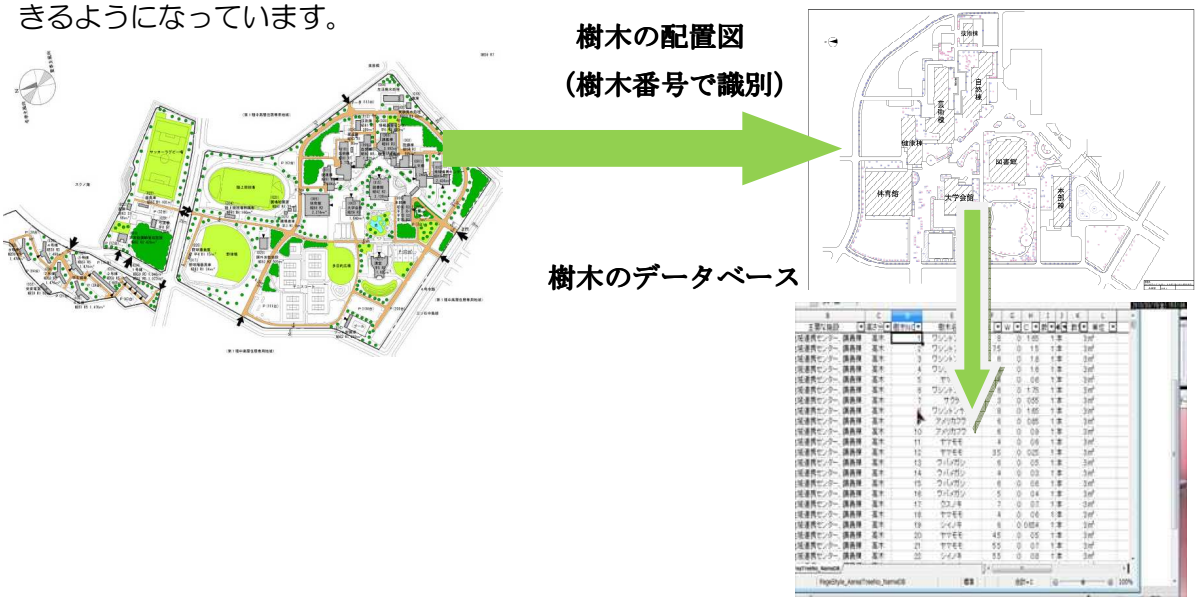
URL は http://www.naruto-u.ac.jp/information/08/016/index.html

また桜の木に関しては「さくらマップ Ver2」を作成し，珍しい桜の木なども紹介しています。

URL は http://www.naruto-u.ac.jp/information/08/016/SakuraMapV2.html



詳細な樹木の配置図が表示され，その名前や高さなどをデータベースを検索することで知ることができるようになっています。



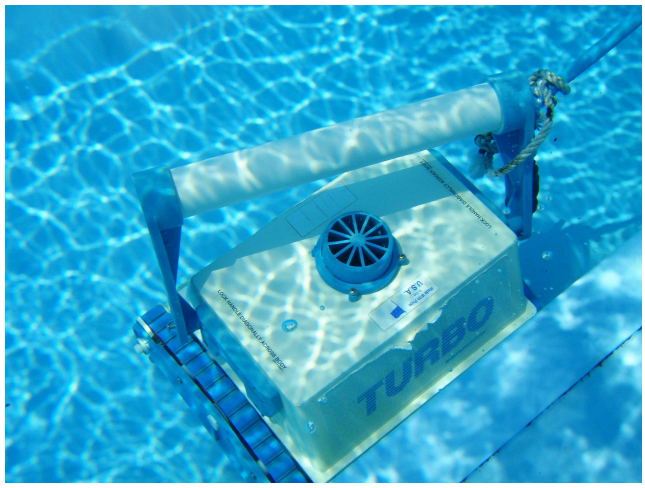
●附属小学校における環境教育取組状況の例

総合的な学習の時間を中心に，環境に関する学習をしています。
また保護者による制服・体操服のリサイクル活動を行っています。

テーマ	学年	教科等	時間
○そだてようあさがお！ 種からあさがおを育て大切に世話をする中で命の大切さたくましさについて気づく。	1	生活科 学級活動	１０／ １０２
○たんぽぽはかせになろう たんぽぽの仕組みに関する説明文を読む活動を通して，命の大切さやたくましさについて気づく。	2	国語科	１２／ ３１５
○われらごみ探偵団 ふだん何気なく捨てているごみの分別や収集について学ぶことで地域の人々や地方公共団体の環境を守る努力について考えを深める。	4	社会科	１２／ １０５
○水はどこから　水はどこへ ―水の旅調査隊― 水道栓をひねると出てくる水はどこからどのように流れてきているのか学ぶなかで美しい水を守る努力について考える。また，工場や家庭などから出る排水が環境に与える影響について学ぶ。	4	社会科	１２／ １０５
○食生活について考えよう 調理実習や家庭生活から出る残飯や排水の処理の仕方について学ぶ。	５・６	家庭科	８／ ７０
○大切な水 淀川水系の環境やラムサール条約について学ぶ中で地元徳島の吉野川や都市の中心を流れる新町川の環境について考える。	5	社会科	５／ １０５
○環境問題について考えよう 日本の自然や地球規模の環境問題について学び地球をどのように守っていくか考える。	5	社会科	３／ １０５
○世界がかかえる様々な問題世界が，環境や平和についてどんな問題をかかえているのか調べる。	6	社会科	３／ １０５
○わたしと環境問題　　―エコプロジェクト　２０１２　― 環境問題について個々の課題意識をもとに調べ活動を展開，ポスター作りを通して全校に働きかける中で環境保全に向けて自分たちができることを考える。	6	総合	２０／ ７０

●附属中学校における環境教育取組状況の例

　生徒会本部役員の呼びかけで，ペットボトルキャップやリングプルの回収をしています。また特殊な装置を使って，プール底を掃除して，プールに入れる水量を少なくしています。



テーマ	学年	教科等	時間
○江戸からのメッセージ 江戸時代の生活は3Rに基づいており，ゴミゼロの時代であったことから，現代の私たちの暮らしぶりを振り返る。	1	国語科	2／140
○アマゾンの熱帯雨林 森林伐採と地球温暖化やアマゾンの砂漠化との関係について学習する。	1	社会科	3／105
○酸・アルカリと中和 酸やアルカリの水溶液を安全に廃棄するには，どのようにすればよいのか。また，なぜそれが必要なのかについて学ぶ。	3	理科	1／140
○健康と環境 排水，空気，ゴミなどの環境問題が，自分の健康とどのように関わっているのかについて学習する。	2	保健 体育科	5／105
○発電とエネルギー 水力発電，火力発電，原子力発電の長所・短所について学習し，今後どの発電方法にしていくべきかを話し合う。	2	技術 分野	3／35
○If You Wish to See Change １２歳のセバン・スズキさんの地球環境サミットでのスピーチをもとに，環境問題について考える。	2	英語科	4／140
○徳島未来計画 徳島の現状を調べ，そこから２５年後の徳島の環境に関する問題についての提言を行う。	3	総合	15／70

●特別支援学校における環境教育取組状況の例

牛乳パックを再利用し，しおりやはがきを作っています。

学部・学年	教科等	指導内容
小学部(全)	日常生活の指導	・燃えるゴミ，燃えないゴミを意識して，ゴミ箱に分けて入れる習慣を身につける。
		・手洗い，歯磨きの仕方を身につけるとともに，水，電気のむだづかいをしない習慣を身につける。
	生活単元学習	○野菜の栽培をとおして 植物の生長における水の大切さを知るとともに，野菜が食生活に欠かせない物であることを知る。
中学部(全)	日常生活の指導	・紙，プラスチック，発泡スチロール，ビニール，木材等の名称を知るとともに，燃えるゴミ，燃えないゴミに分別してゴミ捨てをする習慣を身につける。
		・水道水，電灯，エアコン等の資源の大切さを知り，人のいないときは消灯，省エネを心がける。
	生活単元学習	○地域の環境の美化に貢献しよう ポイ捨て等が環境に与える学習をするとともに，吉野川河川敷の清掃活動をする。
		○野菜を栽培しよう 野菜の生長の学習をするとともに，つる性植物（きゅうり）や木立性植物（トマト）による遮光効果の学習をする。
	職業・家庭科	○快適な住まい 部屋の換気，採光，照明，冷暖房機等の必要性について考える。
高等部（全）	日常生活の指導	・燃えるゴミ，燃えないゴミ，ダンボール，資源ゴミを弁別し，正しい処理の仕方を身につける。
	生活単元学習	○リサイクルセンターの見学 ○腐葉土づくり 校内清掃活動で生じた草や落ち葉を利用して腐葉土をつくり，野菜を栽培する畑の肥やしとする。
	家庭科	○快適な住まい 部屋の換気，採光，照明，冷暖房機等の仕方を知り，エコを意識した健康な住まい方を工夫する。
	作業学習	○紙工班（牛乳パックの再利用による紙漉作品の制作） ○木工班（端材やチップを利用した木工作品の制作）
	就業体験	○空き缶やペットボトルの分別に関する実習

●附属幼稚園における環境教育取組状況の例

幼児に自然に慣れ親しんでもらい，環境について遊びの中から学んでもらいます。

テーマ	年齢	活動
○植物・動物とかかわり不思議さや美しさや優しさを感じる。	３歳児・４歳児・５歳児	草花を使っての遊び・園外保育・飼育栽培活動など
○自然の中で遊ぶ楽しさを味わい，自然と自分とのつながりを感じる。	３歳児・４歳児・５歳児	鳴門教育大学多目的広場での自然体験プロジェクト
○自然の大きさと優しさを体感する。	３歳児・４歳児・５歳児	城山登山・親子遠足

うわぁー、遊びを通しての教育って、
おもしろそう！

【環境保全活動の心を幼児期からはぐくむ教育】

※「遊誘財」とは？（鳴門教育大学附属幼稚園が作成した上記資料より抜粋）

子どもたちが興味関心をもって惹き付けられ，様々に感じ，気付き，夢中になって遊び込み，そのものの本質やおもしろさに迫り，その中から豊かな感情や多様な学びが得られる，そのような，子どもたちを遊びに誘う「環境」を，私どもは「遊誘財」と命名した。単なる素材や教材の「材」ではなく，宝としての「財」である。

●雨上がりの園庭でかしわもち作り

３歳児たちが園庭の適度に湿った土を丸め，柏餅を作る。
アジサイの葉が柏の葉の代用になっている。
子どもの日の楽しいエピソードも菓子皿を飾る。
「この間おばあちゃんと一緒に作ったんよ。
今日は先生に食べさせてあげるな」

環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反，訴訟等の有無

（1）法遵守で安心・安全なキャンパス

本学は，環境管理責任者が中心となり，平成 24年度の遵守評価を行い，問題ないことを確認することができました。法遵守の実態からキャンパスでの安心・安全な環境下で教育活動が持続できています。また，過去3年間，利害関係者からの苦情，訴訟は 1 件もありませんでした。なお，附属中学校西側排水路の清掃の要請があり実施しました。

（2）適用する環境関連法規の遵守状況

活動に関係して適用する環境関連法規の遵守評価を以下に示します。最終，環境管理担当者が遵守の評価を行います。

環境管理担当者：平成25年3月31日

環境関連法規類			遵守評価　平成25年3月		評価
			監視及び測定	担当	○×
1	毒物及び劇物取締法		特定薬品関係管理状態	財務課	○
2	労働安全衛生法		産業医・安全・衛生管理者等	人事課	○
3	消防法		危険物管理 消防用設備	財務課 施設課	○
4	廃棄物処理法		一般廃棄物分別及び特別管理廃棄物の処理状態など 増改築工事時の産業廃棄物処理	財務課 施設課	○
5	資源有効利用促進法		パソコン・二次電池等	財務課	○
6	家電リサイクル法		廃棄時確実な引渡し・不法投棄	財務課	○
7	自動車リサイクル法		廃棄時確実な引渡し・不法投棄	財務課	○
8	建設リサイクル法		新築・増築・解体工事発生時 元請け業者との契約事項	施設課	○
9	ＰＣＢ処理特措法		自治体届出・年１回６月確認 微量ＰＣＢ使用中・管理状態	施設課	○
10	フロン回収破壊法		フロン回収手続の処理	施設課	○
11	水質汚濁防止法		瀬戸内海法　月１回 窒素・リン・ＢＯＤ記録	施設課	○
12	浄化槽法		定期的な保守点検・清掃，法定点検	施設課	○
13	水道法		年１回清掃・点検	施設課	○
14	グリーン購入促進法		報告書　毎年４，５月頃確認	財務課	○
15	環境配慮契約法		毎年５月頃確認	財務課	○
16	環境保全活動・環境教育推進法		持続可能な社会・意欲の増進	施設課	○
17	食品衛生法		営業許可証の確認	学生課	○
18	省エネ法	エネルギー合理化・自主的	エコアクション２１：環境目標・環境活動計画進捗	施設課	○
		トップランナー方式	２３機器の内，買替時購入	財務課 施設課	○
19	環境基本法，循環型社会形成推進基本法 温対法，文部科学省からの通達など		国の施策に協力，温室効果ガスの排出抑制枠組など	施設課	○

代表者による全体の評価と見直しの結果

日　時　平成25年9月6日（金）13:30～15:30　　場所　学長室，理事室
出席者　学長，環境管理責任者，エコアクション21事務局

環境管理責任者	学長		環境管理責任者
成果・実績のインプット情報	確実な評価・判断	アウトプット情報・改善の指示 変更の必要性に言及	具体的指示の対策及び周知
平成25年9月6日	平成25年9月6日	平成25年9月6日	平成25年9月6日
①環境方針の達成状況 昨年度同様，全構成員に対して積極的に周知を図り，今年度においても達成していると考えられる。 引き続き，取り組みを推進するため，環境方針を全構成員に周知徹底を図る。	『妥当性』 本学が，運用する環境マネジメントシステムは妥当であると判断できる。	■環境方針　□有☑無 『鳴門教育大学環境方針』(平成22年11月24日)を平成25年度においても継続する。	■対策・決裁・周知 引き続き，環境活動レポート及びエコアクション21リーフレットをホームページで公表し，全構成員の環境への意識を高める。
②環境目標・環境活動計画の進捗度と結果 今年度においては，化石燃料使用量，水使用量及び紙購入量の削減について，一部未達成があった。ただし，電気使用量の削減について，大幅に達成しており，二酸化炭素排出量の削減についての目的は達成している。 また，環境マインドを持った人材育成について，教職員及び学生を対象とした講演会の実施は評価できる。引き続き，講演会等を継続していく。	『適切性』 本学は，法で定められている特定事業所ではないが，自主的・積極的に環境マネジメントに取り組むことができるエコアクション21の運用は適切であると判断できる。	■環境目標・環境活動計画☑有□無 今年度において，一部未達成が報告されている化石燃料使用量，水使用量及び紙購入量の削減については，今年度の運用後に目標値及び達成手段等についての見直しを判断するとしており，対策を講じる必要がある。	■対策・決裁・周知 エコアクション21専門部会において，再度達成手段等を検討する。 今年度未達成の化石燃料使用量削減については，電気使用量削減と相対する部分があるので，平成25年度は進捗管理による原因把握を徹底する。 昨年度も未達成の水使用量削減については，原因の分析（漏水等）はできているが，予防措置に努める必要がある。また，ルーチン業務における紙購入量削減として，引き続き，諸会議でペーパーレス化を推進する。 ルーチン業務以外の特別な業務がある場合（本学主催の全国会議等）については，紙の使用量を把握し，例年との比較ができるようにすること。
③法遵守の定期的評価結果 適用する環境関連法規類は，担当部署に確認し適切にまとめている。本学の構成員においては，法遵守の重要性を十分認識している。 引き続き，安心・安全な環境下で教育研究活動が持続できるよう，内部監査の重点監査項目にする必要がある。			
④経営システムの実施状況・ PDCAサイクルの機能性 環境マネジメントシステムにかかる事項は，複数年度にわたって実施するものも多いため，現時点では，サイクルの有効性は判断できない。中期3カ年計画が終了する平成25年度の活動実施後に，仕組み作りについても再度点検・見直しをしていきたい。エコアクション21の理解度をさらに高める必要がある。	『有効性』 環境活動計画では，電力・水使用量等の推進状況が年度月別毎にグラフ化され，成果が把握しやすい。 進捗状況は，4ヶ月毎に環境管理責任者が監視・測定・評価し，実態を把握する仕組みは良いと思われる。 電力使用量については，前年度に引き続き，環境目標を大幅に達成しており，震災後の節電の意識が高まっていると思われる。	環境マインドを持った人材の育成については，環境管理責任者及びエコアクション21専門部会を中心に，現状と今後について再度検討する。	平成24年度に引き続き，環境マインドを持った『学生』の育成のため，学生向け広報誌～学園だより～にエコアクション21の紹介記事を掲載する。また，講演会・オリエンテーション・クリーンキャンパスの活動に学生が積極的に参加できよう創意工夫し実施する。
⑤問題点の是正処置・予防処置 今年度においては，環境経営システム全体の状況について，第三者による内部監査を実施し，システム欠陥の発見はなかった。平成25年度は，今年度実施した内部監査員養成研修の受講者の中から監査員を推薦し，内部監査を実施する。		■経営システム　□有☑無 インプット情報の報告にもあるとおり，環境マネジメントシステムの理解度を深めることが必要である。	■対策・決裁・周知 全構成員がエコアクション21の理解を深めるため，環境活動計画等を見直して実行していく。 昨年度改正した『国立大学法人鳴門教育大学環境マネジメントマニュアル』をホームページ等に掲載し周知する。 また，環境活動レポートは，平成24年度版を周知し，引き続き読者を意識した誌面づくりを心がける。
⑥利害関係者の見解及び要望事項 今年度においては，外部からの要請事項として附属中学校西側排水路の清掃を実施した。引き続き，事象発生時は是正処置・予防処置に注意が必要である。	気付いた点 環境に対する意識が，講演会やクリーンキャンパスの環境保全活動をとおして広がりつつあることは評価できる。 今後は，関係者の周知による活動から，自主的・積極的に活動できる人材を育てるため教育を進めなければならない。将来的には，学生が主体となる活動があれば望ましい。		
⑦教育訓練状況と結果 エコアクション21講演会を実施し，教職員だけでなく学生に対しても環境に対しての意識付けを行った。 対象範囲を拡大した徳島サイトでは環境関連の授業を通して教育活動を行い，大学全体としての理解が深まっている。		■学長特命事項　☑有□無 ●エコアクション21の内部監査を実施する必要がある。 ●昨年度と同様に，内部監査員養成研修を実施し，今後においては，職員→教職員→教職員・学生と対象者を拡大して実施する必要がある。 ●学生に対して，環境に関する意識調査を実施し，エコアクション21の認識度を確認する必要がある。	■対策・決裁・周知 ●平成25年度においては，昨年度養成した監査員による内部監査を実施する。 ●昨年度と同様に，職員を対象とした内部監査員養成研修を実施する。将来的には対象者を拡大した研修を実施する予定。 ●学生に対してのアンケートは，理解度・認識度並びに改善・提案等の項目を踏まえたアンケート内容とし，今後の活動計画の参考とする。
⑧緊急事態準備対応・手順書テスト結果 今年度においても11月に防災訓練を実施しており，防災予防は問題ないが本学におけるリスクの種類の中で環境に関する手順書の充実を行い，実態に沿ったものに仕上げていく。			
⑨前回レビューのフォローアップ事項 環境活動レポートにおいては，環境活動の具体的な記事を追加し，読者が興味を持てるような誌面に近づいている。内部監査の結果も追加した。			

「景勝の地，鳴門海峡の潮と光と人が調和する風の通り道にある鳴門教育大学」

平成２５年９月　作成

国立大学法人鳴門教育大学施設整備委員会
エコアクション２１専門部会
〒772-8502 徳島県鳴門市鳴門町高島字中島 748 番地
URL http://www.naruto-u.ac.jp/
代表者　　学長　　田中　雄三
環境管理責任者　理事･副学長　茶畠　　豊
問合せ先：
経営企画本部施設課　TEL 088-687-6080
メール：sikikaku@naruto-u.ac.jp